



夢を語る

夢の「遊び場」

さつき自治会 坂本 淳子

私はこの桂坂に移る以前、特に小学生の遊び盛りの時期を上賀茂の新興住宅地で過ごした。とはいえ、その環境は桂坂とかなり違い、遊び場と呼べるスペースが極端に少なかったように記憶している。

まず家を一步出るとすぐ急な坂道で道幅も狭く、ボール遊びもままならない。公園にしても、申し訳程度に造られた殺風景な小さなものが一つあるばかりだったので近くの造園業の石置場を「お城」がわりに遊んで怒られた。だから五年前に桂坂に越えてきてこの環境を目にし

桂坂卓球大会

体育振興会 越久村 真一

二月五日(日)、桂坂小学校の体育館で、第四回桂坂卓球大会が行われました。

各自自治会の体育委員さんが選手集めに奮闘していたのだから、参加者が足りなくなるほどたくさんの方が参加されました。六〇数名の出場選手、応援のご家族や体育委員さんを含めると一〇〇名近くの人で賑わいました。中でも、体育委員さんからの強い誘いで出て下さった初心者の方には心から感謝したく思います。東地区の方や「つばき」

の方もおられました。主に一〇人から二人でチームを編成した六自治会の団体戦で行われました。一位は、例年通り「かえで」、二位は「さつき」、以下「あかしあ」、はなみずき、「ぼぶら」、「しらかば」の順でしたが、二位の「さつき」が三勝二敗のフルセットで、やっと「しらかば」に勝つという二位以下は大混戦でした。

体育館 練習に開放

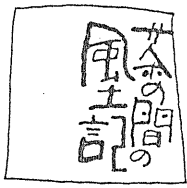
毎週土曜日、午後七時から九時まで、桂坂小学校の体育館を卓球の練習に開放しておりますので、ぜひいらして下さい。

けやき自治会

三月二日 発足

大枝山町に新しい自治会が誕生します。九番目の自治会です。

これまで連合会の活動にも色々のご理解・協力をいただき、誠にありがとうございます。今後のご活躍とご発展を祈念いたします。



旧山陰街道 IV

枝陵を歩いてみると、この大枝の地に今も桓武天皇の深い思いが残されているような不思議な思いにとらわれます。

前回は、大枝と桓武天皇とのつながりについてお話ししましたが、今回は、その桓武天皇の母、高野新笠の大枝陵からスタートします。場所は、前々回ご紹介しました安正寺から西へ少し行

った伊勢講山の急な勾配を登ったところです。桓武天皇の妃、藤原旅子の眠る宇波多陵、そして母の眠る大河内境の大坂山であるとい

う説もありますが、この朽ち果てた祠の前で目をつぶれば行き交う旅人の姿が目に見えます。

この関所址と小畑川を隔てて反対側、国道9号線の西に「連華の路」があります。昭和三四年(二九五九)日蓮宗の霊地として建設され、入口には、昭和四五年(一九七〇)に立てられた身延山の日静上人筆による交通安全祈願の石塔があります。

『日本書紀』天武天皇白鳳八年(六七九)の条には「初置「関於大江山」と記され、この大江山は大和河内境の大坂山であるとい

その昔、山陰道は、現在の仏舎利靈園から京都市清掃工場付近を経て、この地を通り、老の坂トンネルの西に抜けていたそうです。

このあたりは、街道の要所となり、茶屋や旅籠も軒を連ねていました。明治初年に老の坂に新しい道が開かれ、トンネルが出来てからはこの街道はさびれて行きました。

その道を行きますと「従是東山城國」(これよりひがしやましろのくに)と刻んだ石標があります。ここがその昔、丹波と山城の国境だったのです。

この石標の向かいの小さな鳥居をくぐったところにあるのが有名な首塚大明神です。源頼光が酒天童子の首を京へ持ち帰る道中、このあたりで急に首が重たくなり、動かすこともできず仕方なく、ここに放置して行つたとも、また切り落とした首が火を吹きながら京へ飛んでいく途中でこの地に落ちたとも伝えられています。

今なお、薄暗い杉木立の中、首塚の前に立っている、老の坂峠の山賊でも現れて来そうな気がして、思わず後を振り返りました。

少年補導委員会主催 耐寒ハイキング

桂坂支部 馬江 芳雄

例年恒例の冬季に行つてくる行事を今年は「洛西散策の森」をハイキングすることとなりました。今年には阪神大震災のあとでもあり自粛するかどうかという意見もあつたのですが、親子のふれあいと、ちよつぴり運動不足の解消のため予定通り実施することとなりました。

天気予報は曇り、前日よりハイキング後の豚汁の材料の段取りや当日の救護の車の段取りも済み九時集合の九時三〇分、桂坂小学校を幼児から七〇歳のご夫婦まで総勢七〇余名での出発となりました。出発後しばらくと小雪が舞い散る中散策の森登り口まで約三〇分

最初の坂は思いの外きつくとそれだけが思い思いのペースでの登山?となつてしまいましたが、途中天気も回復して少々汗ばむくらいで残雪のあるコースを頂上まで一気に登り小休止、それぞれ持参のお茶やあめをほおばり、足元に注意しながら下りは一気に下山。そのまま小学校まで全員、無事帰ってきました。

出発前から用意し長い時間をかけて作ってもらった豚汁のおいしさに用意した材料はあつという間に無くなつてしまふ腹の中!おかわりのもらえなかつた人は残念でした。

今回は、体育振興会の卓球大会と日が重なり予定を立てる段階での調査不足で参加出来なかつた方には申し訳ありませんでした。反省!これに懲りずこれから行事への参加をお待ちしています。

活動する

中学生ボランティア

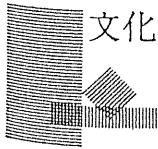
「子どものための世界サミット・世界宣言」の実現を求めて、峰ヶ堂の中学2年生・木場紗綾さんがボランティアとして署名活動をおられます。

この「世界宣言」は一九九〇年九月、国連に七ヶ国の国家元首が集まり「子どもにより良い未来を」のテーマで開催されたサミットにおいて、「子どもの生存、保護および発達に関する世界宣言」として採択されたものです。

戦争や貧困、飢餓のために毎日、三万五千人もの子どもたちが死んでいくという厳しい現実は今なおなくなりません。木場さんら若い人たちは、この現実を見据えて「子どもが飢餓を終わらせよう」(ユース・エンディング・ハンガー)のスローガンの下に「子どもにした約束を守つて」と願いながら署名など様々な活動を展開しています。

今年の八月には、ニューヨークで第2回の「地球子ども会議」が開かれます。因みに第1回は、京都の国際会議場で一九九一年に開催され、六〇ヶ国から若者が集まりました。「飢餓から解放された世界を創り出す若者たちの「共同戦線」です。色々な国の、様々な分野の人たちの連帯で次第に参加者も増えていくことで

文化



コンサートのついで

三月二十五日(土) 午後三時開演 西文化会館ウエスティン 西宮上林町 三二二

第七二回 日文研フォーラム 三月一四日(火) 午後二時~四時 国際交流基金京都支部

発表者 王家驊 義精神 中園隆彦・豆野賢隆 (日本語で発表) 定員六〇名 無料

桂中学校 3:00 桂高等学校 3:40 成章高等学校・明徳商業高等学校 4:20 クラシック音楽演奏 市立芸術大学 5:00

主催 西京ふれあい事業 実行委員会